京都精華大学教育後援会　2026 年度 第 1 回役員会 議事録

開催日時：2026 年 5 月 23 日（土）11 時～12 時
開催場所：H-417 会議室、オンライン
出席者：役員 11 名、大学関係者 11 名

議事事項

1. 京都精華大学 概要・2026 年度概況

事務局から、資料に基づき、説明があった。

2. 2026 年度教育後援会について

事務局から、資料に基づき、提案があった。審議の結果、承認された。

3. 2025 年度事業報告および決算

事務局から、資料に基づき、提案があった。審議の結果、承認された。

役員から、昨年度の就職率を教えていただきたい、と質問があった。

学生グループ長から、全学部で 94.5%、進学も含む進路決定率は卒業者に対して 79.4%である、と説明があった。

役員から、総会のオンラインアンケートの回答率が 6.8%と低いが改善のための施策は行っているか、と質問があった。

事務局から、HTML メールに資料写真を付けるなど、内容に興味を持っていただける工夫を検討したい、と説明があった。

役員から、公開講座ガーデンが近年行われていない理由は何か、と質問があった。

事務局から、担当部局で他の事業の優先度が上がっていること、公開講座ガーデンのような大学主催の講座以外の、学外の講座に参画している実情がある、と説明があった。

4. 2026 年度事業計画および予算

事務局から、前受金の各学部の 1 年生の人数と金額は、予測として入学定員通りの数値を記載しており、変動の可能性がある、と説明があった。

役員から、予算を増額した理由について質問があった。

事務局から、学生応援ランチが、昼休み前に売り切れてしまうことがあること、また、教育後援会役員および学生から、さらに充実させて欲しいという要望もあり、対応するために増額した、と説明があった。

学長から、物価上昇で業者さんと折り合いがつきにくい実情はあると思うが、学生にはぜひ、十分に食事を取ってもらえるようにしたい、と意見があった。

役員から、学食の応援メニューに関して、昨年度は 100 円だったコロッケカレーが 150 円になった理由と、昨年度はあった日替わり定食がなくなった理由について質問があった。

事務局から、基となる学食のメニュー価格の引き上げがあった、と回答があった。

役員から、ナフサ不足に伴う画材の高騰について、大学から学生への支援はあるかと質問があった。

事務局から、学校側が各学生の材料購入に関する支出負担を減らすことは、まだ検討できていない、と回答があった。

学長から、備品の調達に苦慮することがあっても、教育の質は下がらないように考慮する、と回答があった。

役員から、留学生が賃貸契約をする際の保証人について、国内に保護者が居住していない場合は大学が保証人になれるのか、と質問があった。

事務局から、各留学生が日本国内で保証人を手配している、と回答があった。

学長から、保証会社を活用するという施策も考えられる。現状を調査してお知らせする、と回答があった。

役員から、ガーディアンという海外での留学生後見制度の事例が紹介された。

全議事の終了が宣告された。

以上